

2015年3月14日（土）

玄岳（くろだけ：799m）

7日の天候が思わしくなく14日（土）に変更し、参加者は皆さん都合が悪く、根岸さん、熊本の2名であった。



3月14日は北陸新幹線の開通だけでなく「上野東京ライン」が開通した日で、この日から高崎線、宇都宮線の始発駅は上野駅でなく、同様に東海道線の始発駅も東京駅ではなくなつた。上野及び東京は単なる通過駅になつた。

東京6:30発の電車は高崎駅始発で、満席で東京駅に到着して、東京で下車した後に座ることが出来た。

今まで上野や東京は始発駅で少々早目に行けば座れたが、これからは必ずしも、確保できるか不明だ。

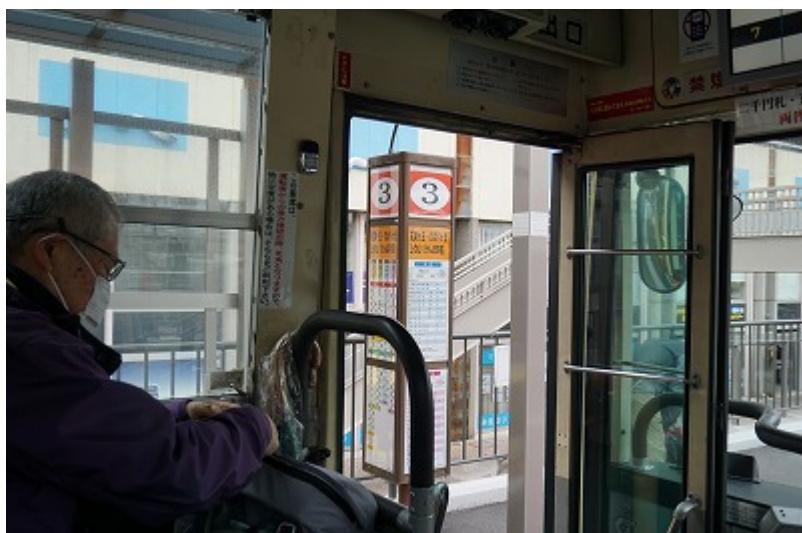
集合駅の熱海には8:30に到着。



熱海駅で改札口に近い1階にあつた

トイレは伊東線のホーム2階に移動し、
その近くに駅舎そば屋があつた。

旨そうな「桜えび山菜そば」(¥480)の看板につられて、食べてみたが旨かつた。



9:05に根岸さんと合流し、バスターミナル3番乗り場から、「ひばりが丘」行の9:25のバスに乗る。



約 20 分で玄岳ハイクコース入口バス停に到着した。



今日は根岸さん、熊本の二人の山旅である。
花曇りで日差しはない。
写真を撮って出発する (9:50)。



根岸さん、熊本も花粉症に悩まされており、
ゴーグル、マスクの完全防備体制で・・・



熱海は暖かく桜が咲いていた。
梅かと思ったが、葉より先に花が付いていておりサクラであろう。



暫く、住宅地の舗装道路を登るが、結構、斜度がきつく足慣らしになる。



これも熱海桜でピークを既に過ぎて散っていた。



根岸さんもマスクをして登る。



20分ほど舗装道路を登ると、
登山道入り口に着く。



「玄岳山頂⇒」の標識に従って上を目指す。



標高 350m でここから山頂まで 2.5 Km
90分とあった。
山頂まで約標高差 450m である。



竹林を登る



所々に、登山者向けの表示が出てくる。

「緑のシャワー」でリフレッシュとあったが、新緑に包まれるのはまだ早い。

帰りに「私は新品です」と言えるかどうか？



伊豆スカイラインの道路と交差する付近がほぼ中間点であろう。

ここに「才槌の洞」の標識があるが、いつきても、この洞がどこにあるか分からぬ。ここで小休止する。



「才槌の洞」の標識を過ぎると、登山道も狭くなり斜度を増す。



更に 20 分程、登ると、馬酔木が出始めた。



スズランを小さくしたような花が鈴なりについている。



更に 10 分程登ると展望が開け、熱海の市街が見渡せた。
此処は、風はないが上空からフワフワと白いものが降りてくる。良く見ると雪だった。



数分歩くと、笹山の山頂が見え、馬酔木は満開に咲いている。



雪が降ってこないうちに山頂を目指す。



11:23 に玄岳 (799.2m) 山頂に到着。
山頂は枯れた熊笹とカヤトで 360 度の展望
だが、残念ながら今日は曇りで見通しは悪
い。



山頂は風があり気温は 5 度程度で風のため、体感温度は更に低く、指先は冷たく痺
れた。



早々に、山頂で登頂記念写真を撮って、
山頂直下の見晴台へ降りることにした。



枯れた笹が堆積した下山道は滑りやすく、
慎重に下る。
見晴台は風よけになっており、ここで昼食
にした。
上空から、時たま雪が舞い降りてくる。
ユックリと昼食を取って、11:50 に下山に入
る。



中間点の「才槌の洞」の標識がある伊豆スカイラインとの交差点まで約 25 分で一気に降りた。



舗装道路まで下山し、登りで気が付かなかった、「ミツマタ」が綺麗に咲いていた。玄岳ハイコース入口バス停に到着し、約 30 分の待ち時間のため、紅葉が丘のバスターミナルまで歩き、丁度出発する 12:58 の熱海駅行に乗った。



約 10 分乗車で、熱海市庁舎近くの清水町バス停で下車し、本日の日帰り温泉「日航亭大湯」に向かう。
大湯の手前にあった「間欠泉」



右、湯前神社と正面の日航亭 大湯



本日の温泉「日航亭 大湯」



1時間ほど入浴休憩し、熱海駅に行く。
(14:35)



湯前神社の御神木「クスノ木」は根周りが 7.2m の巨木



駅前の仲見世お土産や通りで、揚げ物を土産に買おうと寄ったが、大勢並んでおり、駅構内の出店で購入。
こここのジャガバター揚げが旨い。



熱海駅から快速「宇都宮行」に乗り、
帰路に着いた。